

飛翔
HISYOU

コロナ
世界で一番強い学校

〈めざす生徒像〉

自主：正しく判断し主体的に行動する生徒
協調：信頼し助け合い、思いやりと感謝のある生徒
責任：責任を自覚し、最後までやり抜く生徒
勤勉：喜びを感じながら、主体的に学ぶ生徒
健康：遅く生きるための意志や体力を持つ生徒

令和3年8月27日
枚方市立長尾中学校
校長通信 第18号

通常から2日遅れて2学期が始まりました。 昨日 On Line で始業式を開催

長尾中学校の生徒のみなさん、おはようございます。

本校で先週、新型コロナウイルス感染症による陽性者が確認されたことに伴う臨時休業は、昨日「濃厚接触者なし」との保健所の判断がありましたが、新たに別の陽性者が確認されたため、本日も臨時休校となり、各家庭において Meet を使った On Line 始業式を行うこととしました。私の声はきちんと届いているでしょうか。

まずはじめに、本校で陽性者が出たことに関し、「誰だろう?」とか「あのクラブじゃないか」などと詮索し、心無い噂を流すなど偏見・差別のないよう、人権について十分に配慮するよう強く願います。

大阪府にとって4回目となる緊急事態宣言が8月2日に発令されたにもかかわらず、新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。昨日の新たな感染者数は、大阪府下で2808人、全国で24321人、また、**デルタ株**といわれる変異株への置き換わりが進み、今まで比較的感染者が少なかった年齢層、小学生・中学生・高校生への感染が拡大しています。

「なめたらあかんで、デルタ株」

今朝、通勤途中に自転車に乗る中学生二人とすれ違いました。一人は全くマスクをつけていませんでした。先ほども言ったように、デルタ株は若年層への感染率が非常に高いと言われていています。もちろん、若い人はコロナに感染しても症状がないことが多く重症化もしにくいと言われていています。しかし、みなさんの中には基礎疾患のある人もいます。感染を大切な家族や友達に広げることになります。みなさんひとりが新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し正しい行動を取るなど、感染予防対策を徹底するよう心がけて下さい。

日常の感染予防対策

1. マスク着用の徹底

1学期末、休み時間や登下校時にマスクを外している生徒が見られました。どうしてもマスクを外す場合は人との距離を2メートル以上保つよう心がけて下さい。

2. 手洗いの励行

石鹸や薬剤で、こまめにしっかりと手を洗うようにしましょう。

3. 三密の回避

「密閉・密接・密集」を避け、どうしても避けられない時は会話を控えるようにして下さい。

4. 医療機関の受診

そして、もし体調がすぐれない時、微熱がある時は医療機関にすぐにかかるようにして下さい。

臨時休業中の各家庭においても、不要・不急の外出は避け、なお一層の感染を防ぐための取組み、工夫を行うようお願いいたします。

本当ならば、始業式をみなさんが揃った学校で行い、オリンピックや夏休み中のクラブの頑張りについてお話したかったのですが、臨時休業中にこのような形でコロナ感染予防についての話となりました。

最後に、先日ミルメールで保護者にもお知らせしましたが、学校が始まってコロナ感染が心配で登校できない生徒については、On Line による授業配信を考えていますので、保護者から担任の先生に相談するようにして下さい。私の話は以上です。

※緊急事態宣言中は、公式戦（北河内大会以上）出場のクラブ以外は、原則活動中止です。

部活動における感染症対策

1. 飛沫感染に留意し、近距離での大声を徹底的に避ける。
2. こまめな手洗いを励行する。
3. 体調のすぐれない学生等は部活動への参加を見合わせ、自宅で休養する。
4. 部活動の練習場所や更衣室等、また食事や集団での移動の際の三密（密閉、密集、密接）を避ける。

この夏の東京オリンピック2020

17日間に及ぶすべての競技が終了し、8月8日に閉幕した東京2020オリンピック競技大会。オンタイムでテレビ観戦・応援した家も多かったことでしょう。コロナ禍でのオリンピックに疑問をもっていた私ですが、世界のアスリートが活躍する姿を見て素直に感動！みなさんはどうだったでしょうか？初めて見る競技に関心を持ちたり、スポーツを通して大きく夢を育んだ人もあったと思います。いくつか紹介したいと思います。

【日本五輪史上最年少の金メダリストが誕生】西矢柊選手（13）／スケートボード・日本



本大会より正式競技として加わり、日本のメダル獲得数に大きく貢献したスケートボード。ストリートに出場した大阪府松原市出身の西矢柊選手（13）が、五輪での日本史上最年少で金メダルを獲得しました。



【世界的ベーシストが惚れ込んだ】町田瑠唯選手（28）／女子バスケットボール・日本

五輪競技の最終日に行われた女子バスケットボール決勝戦で、強豪アメリカと対戦した日本。162cmと小柄ながら果敢に攻める町田選手の活躍ぶりに、米ロックバンド「レッド・ホット・チリ・ペッパーズ」の人気ベーシスト、フリーが大興奮！

【トランスジェンダー選手として初のメダリストに】レベッカ・クイン選手（26）／サッカー・カナダ



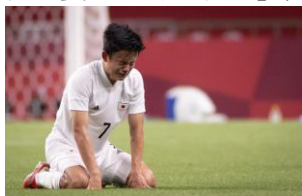
トランスジェンダーであることを公表した、女子サッカーカナダ代表のレベッカ選手。8月6日の決勝戦でスウェーデンにカナダが勝利し、レベッカ選手は、オリンピック金メダルに輝いた初のトランスジェンダー選手となった。

【金メダリストが二人】バルシム選手（30）、タンベリ選手（29）／陸上・カタール、イタリア

陸上男子走り高跳び決勝で、ふたりの選手が金メダルに輝くという事態が発生。2時間にも及ぶ決勝戦で決着がつかず、審判からジャンプオフ（決着がつくまで続けること）を提案されると、ムタズエサ選手は「断ったら、ふたりとも金メダルをもらえるの？」と質問。審判からの「イエス」の答えに、両選手はジャンプオフをしないことを選択。ふたりの金メダリストが誕生した。



【泣き崩れた姿に心打たれる】久保建英選手（20）／サッカー・日本



男子サッカー3位決定戦でメキシコと対戦し、1対3でメダルを逃した日本。試合終了のホイッスルが鳴ると、ピッチで泣き崩れる久保選手の姿が映し出された。試合後のインタビューで「今までのどんな試合よりも悔しかった」と明かすも、インスタグラムでは「個人としてもチームとしても成長したい」と決意を新たに！

【泳げて幸せでした】池江璃花子選手（21）／競泳・日本

白血病を乗り越え、東京五輪への出場切符を手にした池江選手。女子4×100mメドレーリレー4×100mフリーリレー、混合4×100mメドレーリレーに出場したが、メダル獲得には届かず。しかし競技のインタビューでは、「一度は諦めかけた東京五輪だったけど、またリレーメンバーとして決勝の舞台で泳ぐことができ幸せでした」と語り、人々を感動の渦に巻き込んだ。



【“史上最強きょうだい”が金】阿部一二三（23）・詩（21）／柔道・日本



日本武道館で柔道があり、女子52キログラム級と男子66キログラム級で、きょうだいそろって金メダルを獲得。男女のきょうだいが夏季五輪の同一大会でともにメダルを獲得するのは、日本勢では初めてとされる。試合後のインタビューで兄は「まず、このような状況で五輪を開催されて、たくさんの人のおかげで、開催までたどり着いて。本当に、畳の上ではガッツポーズとか、笑顔でいいのかな、とやる前は思っていたけど、いろんなことを考えると、今はたくさんの思いが込み上げてきた。」と語った。

【バス間違えた五輪選手にタクシー代 ジャマイカ政府が感謝の式典】

大会スタッフのストイコビッチ河島ティヤナさん（25）は、陸上男子110メートル障害の準決勝が行われた4日、同国のハンズル・パーチメント選手（31）がバスを間違えて途方に暮れているところにタクシーを手配し、お金を貸して、国立競技場に行くのを助けた。同選手は準決勝を通過し、翌5日には優勝した。その後、インスタグラムで、河島さんに再会して感謝を伝え、お金を返す様子を投稿すると、世界中で話題になり、動画は19日時点で138万回以上再生されている。

